

2014年3月4日
平成25年度 環境省公開セミナー
「ベトナムにおける二国間クレジット制度(JCM)の促進」



セッション2: 二国間クレジット制度実施国における具体的な取組
「ベトナムにおける環境省支援プログラムの概観」



(一社)海外環境協力センター(OECC)
研究員
佐藤瑞西






平成24年度JCMに係る環境省のベトナム支援体制①





平成24年度JCMに係る環境省のベトナム支援体制②

活動内容	実施機関
キャパシティ・ビルディング	 (公財)地球環境戦略研究機関  (一社)海外環境協力センター
設備補助事業	JCM プロジェクト設備補助事業(次ページに詳述)
調査事業	JCM実証案件組成調査(PS)(次ページに詳述) JCM 方法論実証調査(DS) JCM 実現可能性調査(FS)  (公財)地球環境センター
JCM案件発掘	●ベトナムへの適用可能性の高い日本の低炭素技術の特定、及びそのショートリストの作成 ●現地の民間事業者に対するJCMに関する情報提供及び、日越の事業者のマッチング、及びそれらによるJCMの案件の形成を目的としたワークショップの開催 ●現地企業・工場等の訪問等による現地調査 3機関



JCMプロジェクト設備補助事業・調査

JCM設備補助事業

環境省は、事業者が当事業の結果発行されたJCMクレジット(発行量の1/2)を日本政府に納めることを前提として、初期投資の一部(1/2まで)の設備補助を提供。

- ▶平成25年度予算額:12億円
- ▶補助対象者:(日本の民間団体を含む)国際コンソーシアム
- ▶補助対象設備:エネルギー起源CO2排出削減事業を実施できる設備(設備を設置するための費用を含む)
- ▶補助対象要件:補助交付決定を受けた後に設備の設置工事に着手すること。また、平成25年度内に完工すること(1年間の繰越が認められる可能性あり)。

JCM実証案件組成調査、方法論実証調査、実現可能性調査

JCM 実証案件組成調査(PS)

早ければ翌年度に実施予定のJCMプロジェクトの具体化計画立案を目的とした調査

JCM 方法論実証調査(DS)

実際に稼働している案件を活用して、作成した方法論案が実際に適用可能なものであるかどうかを検証し、使用可能な方法論を開発することを目的とした調査

JCM実現可能性調査(FS)

JCMプロジェクトの実現可能性を検討することを目的とした調査

背景

途上国における適切な緩和行動(NAMA)

- ✓ 従来、UNFCCCで緩和行動を求められていなかった開発途上国による緩和策の表明(バリ行動計画、コペンハーゲン合意、カンクン合意、ダーバン決定等で詳細を決定)
- ✓ 途上国における低炭素型発展を推し進める政策的取組
- ✓ 我が国を含む先進国からの低炭素技術導入を積極的に進める取組の実施



NAMA策定支援



支援の取組

- ✓ 特定セクターでのBAU・緩和ポテンシャルの定量的評価
- ✓ NAMA実施に係る人材育成・体制整備
- ✓ 途上国での技術ニーズ・導入ポテンシャルの特定調査
- ✓ 我が国の低炭素技術とのマッチメイキング

NAMA実施を促進する仕組みのひとつとしてJCMを想定

支援対象国と対象セクター

- ベトナム(廃棄物)
- ラオス(交通)
- モンゴル(エネルギー)
- カンボジア(エネルギー・交通)

対象セクター: 固形廃棄物管理

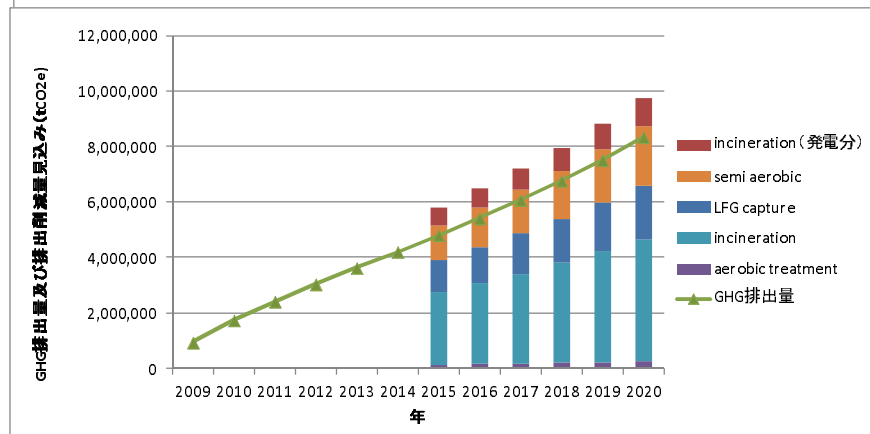
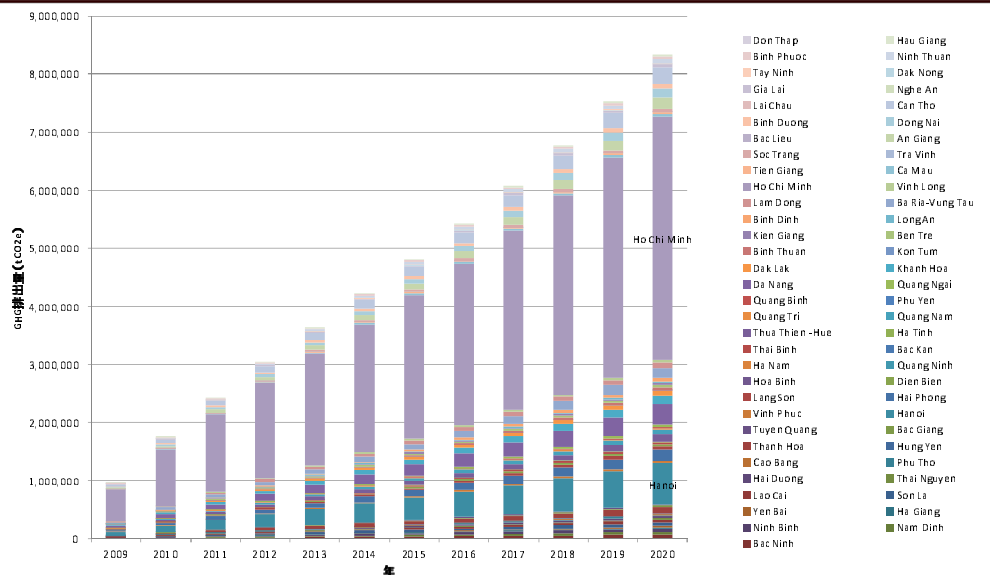
カウンターパート機関: 気象水文環境研究所 (IMHEN)

ワーキンググループ(WG): IMHENをはじめ、天然資源環境省、建設省、計画投資省、ハノイ都市環境公社 (URENCO) 等の代表者により構成

NAMAs: 固形廃棄物処理に関する4つの技術オプションの導入

具体的活動:

- ベトナム全土の埋立処分場における廃棄物処理状況に関するアンケート調査の実施
- 4つのNAMA技術オプションの特定、及び各処分場の廃棄物処分状況に応じたNAMA技術オプションの適用基準案策定
- BAU(成り行きシナリオ)とNAMAを導入した場合の将来的な温室効果ガス排出量を推定



作業イメージ

(1) 低炭素技術に係る文献調査等

- ①対象国における関連技術導入ニーズ・ポテンシャル等の調査
- ②我が国の低炭素環境技術の調査(ワークショップ、展示会等)
- ③国内インタビュー(専門家等へのヒアリング)

(2) 対象国における調査

現地機関・企業ヒアリング、工場見学等を通じた詳細調査

(3) 推奨される我が国の低炭素・環境技術のショートリスト化に向けた検討

対象技術の
ピックアップ

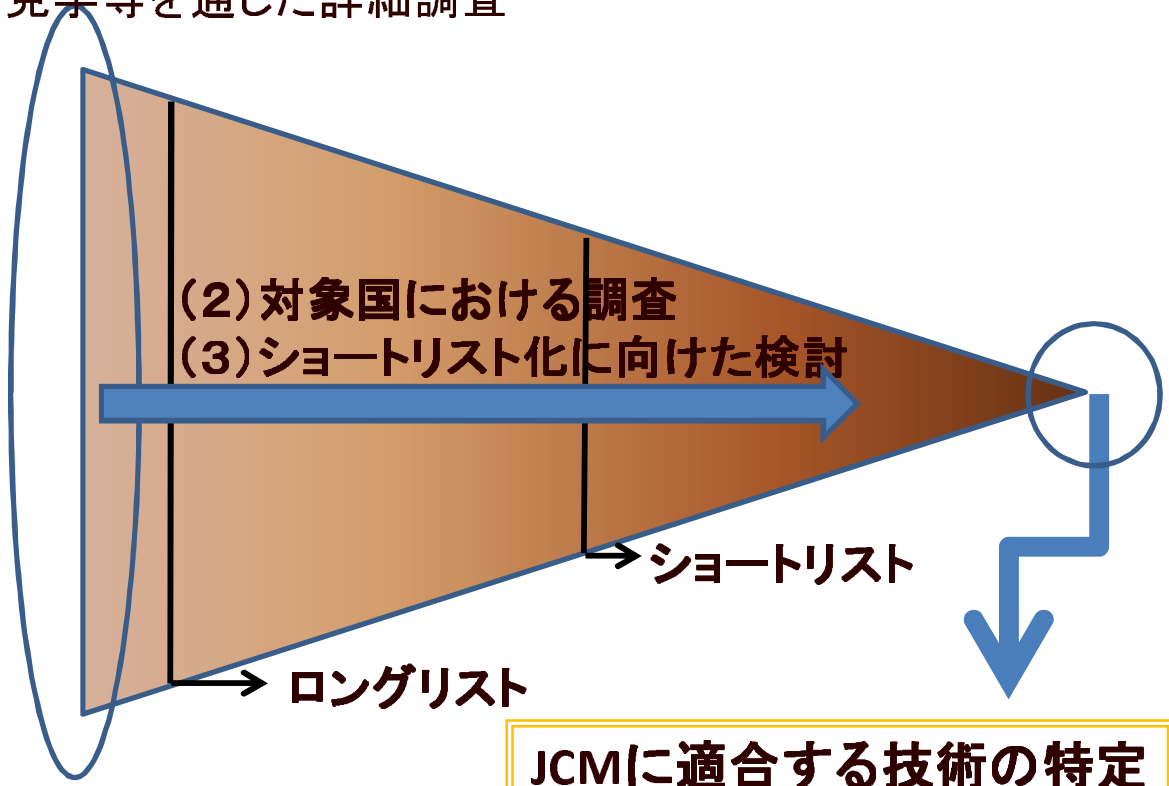
(1) 低炭素技術に係る文献調査、展示会訪問、専門家ヒアリング、環境技術データベースレビュー、業界団体及び企業の訪問等による情報収集

(2) 対象国における調査
(3) ショートリスト化に向けた検討

→ ショートリスト

→ ロングリスト

JCMに適合する技術の特定



訪日研修

- 日本企業が有するNAMAに資する技術の見学
- 我が国事業者との関係強化と案件発掘の調整
- ホスト国関係者への技術導入に向けた動機づけ

環境技術ミッション(ベトナム)

- 技術調査を考慮した日越の企業選定
- マッチングワークショップ
- フォローアップ(FS応募等に繋げる)



リサイクル工場見学



廃棄物焼却炉訪問



埋立処分場での
集合写真



環境技術ミッション
ワークショップの様子



養豚場視察



現地工場視察



新メカ情報プラットフォーム

ホスト国情報ページ(ベトナム)

(<http://www.mmechanisms.org/initiatives/vietnam.html>)

The screenshot shows the website interface for the New Mechanisms Information Platform. At the top, there is a navigation bar with links for 'お問い合わせ先', 'メールマガジン', and 'English'. Below this is the site title '新メカニズム情報プラットフォーム' and 'New Mechanisms Information Platform' with text size options (標準, 大, 最大) and a search bar. A main menu contains categories like '新メカニズムとは', '二国間クレジット制度 (JCM)', '支援プログラム', '各国のNAMAsの情報提供の状況', 'ホスト国情報', 'REDD/REDD+', and '各種制度における方法論'. The current page is '日・ベトナム間二国間クレジット制度 (JCM)', with a breadcrumb trail: HOME > 二国間クレジット制度 (JCM) > 日・ベトナム間二国間クレジット制度 (JCM). The main content area is titled '日・ベトナム間二国間クレジット制度 (JCM)' and features a '最近の動向' (Recent Trends) section with a table of events.

最近の動向	
2014年2月17日	第2回日・ベトナム合同委員会
2013年9月18日	第1回日・ベトナム合同委員会
2013年9月18日	実施規則及び合同委員会運営規則の署名式及び第1回日・ベトナム合同委員会の開催
2013年7月2日	日・ベトナム二国間文書の署名